

マリンガ市の紹介



市章



国旗

姉妹都市提携 昭和48年7月2日

面積 約473km²

人口 約40万人

年平均気温 21.8度

年平均降雨量 1500mm

主要な産業 コーヒー、大豆、綿花等の栽培、牧畜

マリンガ市は、ブラジル連邦共和国南部のパラナ州に属し、綿密な都市計画に基づいて建設された新興都市です。原生林をそのまま残した自然公園（インガ公園）を街の中心に配し、縦横に走る道路には、すべて街路樹が植えられ、街全体が緑にあふれています。農業を中心とした産業は、積極的な工業化政策により、近年大きく変貌を遂げようとしています。

また、日系人が多いことでも知られ、政治、経済、文化等のあらゆる分野で日系人が活躍しています。

加古川市との姉妹都市交流を記念して「加古川大通り」や日本庭園がつくられ、青年の相互派遣をはじめとする各種団体の訪問など、親密な交流が行われています。



加古川・マリンガ外国語センター



マリンガ市で開催された日本文化祭



加古川市が寄贈した日本庭園



マリンガ市内の農場



姉妹都市提携盟約書（日本語）



姉妹都市提携盟約書（ポルトガル語）

加古川市にあるマリンガ市ゆかりの場所



加古川駅北のマリンガ通り



ウェルネスパークにあるマリンガ市の国花イペー